

大津 エンパワ ねっと通信



龍谷大学「大津エンパワねっと」は学生と地域が協働してまちづくりに取り組むプログラムです。

since 2007

TEL:077-543-7691 FAX:077-543-7615
E-mail: shakaigp@ad.ryukoku.ac.jp
HP: http://www.soc.ryukoku.ac.jp/gp/index.html

TOPICS

第7期生 ※1 「地域エンパワねっとII」報告会 STEP 3 共有する

エンパワ
ねっと
7
期生

2015年度「地域エンパワねっとII」 報告会を開催しました！



【プログラム】 報告会

- ・ 取り組みの発表 (全チーム)
- ・ ポスターセッション
- ・ 全体講評



2015年
9月6日(日)

(報告会) 13:20 ~ 16:00
龍谷大学
瀬田キャンパス
8号館103教室

(懇親会) 16:00 ~ 17:15
生協食堂
青志館1階



2015年度「地域エンパワねっとII」報告会は、地域の行事と重なり午後からの開催となりましたが、地域の方々 30名余りを含め、約140名の参加を得て開催しました。



7期生は、中央地区、瀬田東学区、それぞれ5チームで合計49名の学生が活動を行いました。報告会では、まず、「地域エンパワねっとI」での活動の経緯と学んだこと、それをふまえて取り組んだ「地域エンパワねっとII」での活動の成果や課題について口頭発表を行いました。



後半は、ポスターセッションで、前半の口頭発表では提示しきれなかった活動の詳細などを写真や図表、パソコン等も用いながら、見てくださる方々に懸命に説明しました。それに対して、地域の方々には熱心に耳を傾け、質問やアドバイスをしてくださいました。



これまでの先輩達が、地域の方々とともに積み重ねてきた活動の成果があつてこそできる活動であるということ、各チームに寄せられたご感想、コメントには、学生たちのこれからの活動に大きな期待が寄せられていることを強く感じました。



最後になりましたが、お忙しい中、報告会にお越しいただいた皆様に感謝申し上げます。(報告会担当 高松 智画)



STUDENT x COMMUNITY

※1 エンパワ7期生...2014年度9月から「地域エンパワねっとI・II」に取り組んでいる学生たちです。

TOPICS

第7期生 ※1 「地域エンパワねっとII」報告会 STEP 2 見つける STEP 3 共有する

報告会に参加して

= ご参加いただいた方の感想文より =



学生と共に取り組めたのは、地域としても楽しかったです。学生の頃から地域に関心を持つというのは、素晴らしいことだと思います。

これからのまちづくりの中で、若者の視点での意見や活動は大きな力であり、若者の話を聞くことが重要だと思っています。今後ともよろしくお祈りします。

商店街と青年層とのつながりがそれほどないということが意外だった。「つながりはつくるものではない」というのは確かに！冊子作りなど、視野を広げての取り組みには可能性を感じた。一般人にはプライバシーなど難しい面もありますが、何かヒントになればいいなと思った。

どのチームも一生懸命取り組んでいる様子がよく分かった。民生委員児童委員協議会が支援した「FOUR」の皆も、子育て支援の実践、子育て支援活動場所の一覧表作りに取り組み、とてもよく頑張りました。今後、社会に出てこの授業がきっと役に立つことでしょう。

エンパワねっとにより、地域社会の課題を私達も見つけることができます。「ま、いっか」で終わらずに、解決に向けて取り組むことの大切さが、こちら側にも学びになります。

それぞれのチームの反省点がある程度共通していると思うが、それに気付いたことを評価したい。御苦労さまでした。また、7、8期生だけではなく、先輩後輩との連携を続けていってほしい。



第7期 地域エンパワねっとII を 終えて

エンパワねっととの出会いは赴任前に4期生の中間報告会を聞きに来たときでした。5期生の途中から授業担当者になり2期半にわたって関わってきました。毎学期いろいろな学生を見るのは楽しい。地域との関わりもそこで生まれる物語もそれぞれに違います。「今年はこんなタイプの学生」とひとくくりでは語りたくないという気持ちにさせられます。いったん授業担当からははずれますがプログラムの運営委員長として年度末まで努めます。

エンパワ7期生が、成長していく姿を見守り、指導をした授業担当教員のメッセージです

エンパワねっとの指導は初めてのことでしたので、すべてが新鮮でした。とりわけ4つの学科の学生が混在して、それぞれの学科の雰囲気、文化、学生気質などが化学反応を起こしていることに魅力を感じました。中央地区の各チームはそれぞれに有意義な成果をあげたと思いますが、エンパワねっとの講義・実習が終わっても地域は生きています。その生きた地域と今後どのようにつき合っていくか、その時に本当のエンパワねっとが始まります。



7期生は当初、瀬田東も中央も似通ったテーマが多かったのですが、「エンパワI」を経て徐々に問題意識がはっきりし、「エンパワII」では各チーム独自の地域課題の切り取り方ができるようになっていきました。商店街の若者、農業(瀬田東の特産品)、就学前の子育て世代のニーズなど、これまでになかった視点での取り組みも生まれました。皆さんのこの1年間の喜怒哀楽は本当に貴重なものだったと思います。ぜひ、これからの人生に生かしていきましょう。

瀬田東学区での各チームの活動を振り返って、イベントまでに必要な手順を計画的に進めていかなければいけない大変さや、成果物を作り上げるまでの労力の多さを実感すると同時に、たくさんのお話を学んだのではないかと思います。みなさんの活動は、地域の多くの人たちの協力なしにはやり遂げることはできなかったと思います。そして、エンパワが終わっても、地域とはつながっていることを忘れないでください。

龍谷大学

まちづくりコーディネーターとは...

「大津エンパワねっとコース」において学生は、大津市内の地域諸団体との協働関係のもとに、フィールドワーク、ワークショップなどを行って、具体的な課題を発見し、課題解決のためにプロジェクトを企画・実行し、その結果や成果を地域社会で共有することに取り組めます。このような学習サイクルを通して、流動的な地域づくりの現場のなかで、地域社会の諸問題の解決のために様々な事業を企画し実践する「社会参画力」あふれる人材であると本学が認めた者を「龍谷大学まちづくりコーディネーター」として認定いたします。

2015年度
龍谷大学まちづくり
コーディネーター認定者
2009~
累計
47名
2015.9.6現在
314名



スケジュール・お知らせ

- 10月
21日 大津エンパワねっと運営委員会
大津エンパワねっとを進める会(中央)
- 24日、25日 瀬田東学区25周年文化祭
龍谷祭
- 11月
4日 大津エンパワねっとを進める会(瀬田東)

※1 エンパワ7期生...2014年度9月から「地域エンパワねっとI・II」に取り組んでいる学生たちです。

いた皆

習画)

のニーズなど、これまでにな
れました。皆さんのこの1年
のだったと思います。ぜひ、
てください。

いた皆

習画)

のニーズなど、これまでにな
れました。皆さんのこの1年
のだったと思います。ぜひ、
てください。